

感動を共に！

丹波篠山市立田園交響ホール

ステージオペレータークラブ



1988年に芸術文化の殿堂として開館した「田園交響ホール」と併せて設立された「ステージオペレータークラブ」。全国的にも珍しい裏方ボランティアの先駆けとして誕生し、華やかな舞台を陰で支え続けられています。先月には、これまでの活動が認められ、特定ラジオマイク運用調整機構主催の技術賞 一般の部 金賞を受賞されました。今回は高い技術力で光り輝く賞を受賞された「ステージオペレータークラブ」を紹介します。

誕生と軌跡

田園交響ホールの設立時の大きな課題のひとつが、舞台・音響・照明の技術スタッフの確保でした。業者への委託や技術者を雇用すると、利用者に大きな負担がかかりかねないと、独自に考案されたのが、ボランティアの技術者養成です。

そして、1988年に養成講座を経てステージオペレータークラブの活動がスタートしました。ホールで行われるほぼ全ての催し物に携わるとともに、企画・制作から本番のオペレーションを行うイベントも手掛けるなど、芸術文化活動になくてはならない存在として活動を続けられています。

今回の受賞を受けて、山内伸広会長は「先輩や仲間への努力のおかげで受賞することができました。これからも舞台を輝かせられるよう努めていきたいです」とこやかに話されました。



ステージオペレータークラブ会長
やまうち のぶひろ
山内伸広さん

スタッフから一言



やまもと ともみ
山本智美さん

舞台袖でいつも応援する気持ちでいます。出演者さんとのコミュニケーションも楽しく、喜びを共有することにやりがいを感じています。



おおや まさこ
大安雅子さん

日常では味わえない素晴らしい感動があり、達成感があります。



さかい しゅんじ
酒井俊文さん(左)、おかざわ まさゆき
岡澤正介さん

感動の舞台を支える

スペシャリスト

ステージオペレーターは、舞台・照明・音響の3つの部門で構成されています。部員はバンドマンや元大工、ダンサー、主婦、会社員など知識・経験ともに多彩な顔ぶれ。20歳代から70歳代の28人男性16人、女性12人の市民の皆さんが舞台裏を支えています。

第1期から活動に携わられている川端浩之さんは「ステージオペレータークラブの魅力は、出演者とスタッフのひとつの舞台を作り上げ、観客と一体となった感動を共に分かち合えること。また、日々変わっていく新しい技術を見たり聴いたりして勉強しながら、チャレンジできるのもやりのひとつです。何より、感動を共にできるたくさんの方のつながりがあることが楽しい」と話されました。



かわばたひろゆき
川端浩之さん

プロにも勝る

ボランティアのプロ魂

今回の取材でプロの仕事をするボランティアで「知り驚きました。一寸のミスも許されない舞台。しかしホールの舞台には、いつも感動があります。そんな陰にステージオペレータークラブさんの長年に渡る努力とプロ魂があることを知りました。やる気と努力さえあれば、感動をつくるスペシャリストになれます。あなたもチャレンジしてみませんか？



はたひろ けんじ
畑弘恵さん

素人では触れる機会のない機器を操作でき、新しいことにも挑戦でき、やりがいと感動があります。



かとう りな
加藤りなさん(左)、あだち りえ
足立理絵さん

会社勤めもありなかなか活動に参加できませんが、「舞台を成功させたい」という強い気持ちで、活動を続けています。



の の くちよしゆき
野々口善之さん

コンサートをきっかけに興味を持ち、音響に携わっています。本番は緊張でいっぱいですが終演後の達成感はひとしおです。



さかい かおり
酒井香緒里さん

ステージオペレータークラブ

第19期 受講生募集！

講座内容 技術講座や公演実習で、舞台・照明・音響について技術などの基礎知識を習得します
講座期間 9月18日(日)～12月18日(日)
募集人数 20人程度(18歳以上、高校生は除く)
応募期限 9月3日(土)必着
申し込み方法 申し込み用紙を下記に提出
申し込み・問い合わせ 田園交響ホール ☎552-3600